

氏名

病名

年

月

日

日時	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	退 院 療 養 計 画 書
経過	入院から手術日前日		手術前		手術後		手術後1日目		手術後7日目		手術後14日目		退 院 日 （予定）
目標	手術の必要性が理解できる。 手術に同意している。		痛みが強い時には早期に対処され緩和する。 下肢のしびれや冷感が無く、良肢位が保たれている。 深部静脈血栓症の兆候がない。		痛みがコントロールできる。 車椅子や歩行器で移動できる。 膝の屈曲が90度までできる。		（退院可能） 松葉杖で歩行ができる。 自力で膝の屈曲ができる。 通院治療が可能になる。		（退院基準） 1本杖歩行や階段昇降ができ、自力で膝の屈曲が100～120度までできる。 リハビリが必要であれば転院をします。		月		日
											退院後の治療計画		
											退院後は旭川赤十字病院整形外科外来にて通院治療を行います。		
食事	月 日 時から食事（あめ・ガム・ジュース等も含む）ができません。 水・お茶以外は口にしないでください。 月 日 時から水・お茶も飲めません。		許可が出るまで食べたり飲んだりできません。 お腹の動きが確認できてから、食事が再開となります。 										
清潔	手術前シャワー浴ができます。				シャワー浴は医師の許可が出てからになります。 								
点滴・注射			手術後、補液や抗生物質の点滴があります。出血が多い時には輸血をする可能性もあります。食事・水分が十分に摂取できない時は補液にて水分・栄養の補給をすることがあります。										
内服			痛み止めが処方されます。痛みが強い時はスタッフにお知らせください。 										
処置			手術後創部にたまった血液を出す管が入ってきます。出血の量に応じて手術後1～2日で抜去します。				2週間で傷口の接合テープを除去します。						
検査			必要に応じて血液検査、画像検査（X-P）を行います。										
リハビリ					患者さまの状態に応じて手足の運動や座る練習、立つ練習、歩く練習、生活動作の練習などを行います。 								
					創部の管が抜けたら機械を使用して膝の運動を開始します。徐々に膝を曲げ伸ばしする角度をあげていきます。（午前・午後 1時間／回）								
排泄			手術後は尿の管を留置しています。状態に合わせて翌日以降、管を抜きます。										
指導・説明	入院中の生活について説明があります。 麻酔科医師、主治医から手術の説明があります。		手術に向かう時は入れ歯・指輪・カツラ・時計・コンタクトレンズ等全てははずしていただきます。 髪の毛の長い方は束ねてください。		希望があれば医師または看護師から家族へ手術終了後の連絡をします。				医師の診察後退院となります。 退院後の留意点について説明があります。 薬剤師からお薬の説明があります。 				
備考	特別な栄養管理の必要性 有 ・（無） ☆病状によっては、特別な栄養管理をする場合があります。 40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。												